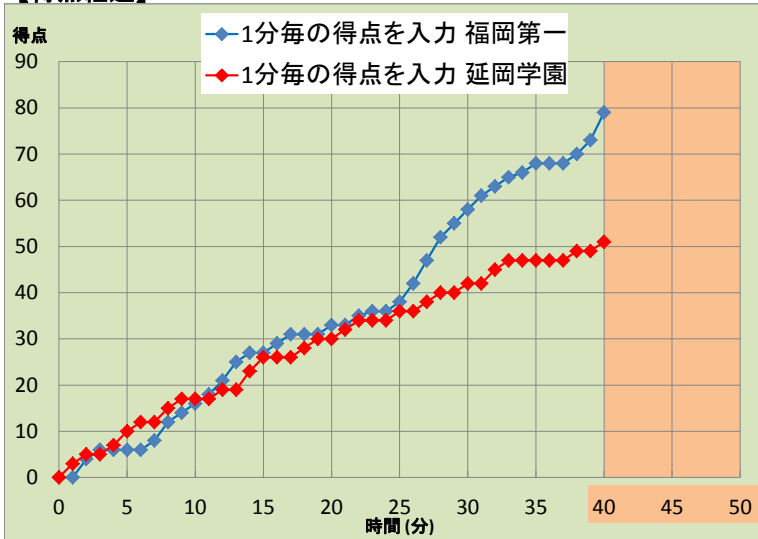


平成29年度 全九州高等学校体育大会 第70回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

【得点経過】



会場	福岡市民体育館	
日時	平成29年6月25日 (日) 10:30	
コート	Aコート	第2試合
カテゴリー	男子	準決勝
主審	原田 拓朗	
第1副審	大久保 好純	
第2副審	石嶺 良方	

TEAM A		TEAM B
福岡第一	79	51 延岡学園
福岡1位		宮崎2位
○		●

【BOXスコア】

TEAM A		福岡第一高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
0	野口 竜生	0					
1	吉居 大誓	5	1	1		1	
8	河村 勇輝	2		1			
10	古橋 正義	14	3	2	1	1	
16	平子 啓太	0					
17	小野 絢喜	○ 7		3	1	2	
24	松崎 裕樹	○ 14		5	4	1	
28	井手 拓実	◎ 2		1			
31	松本 礼太	○ 10	1	3	1		
46	小川 麻斗	0					
50	ハムアンゲイジョン	○ 8		3	2	2	
55	ディアライソフ	17		6	5	1	
コーチ	井手口 孝						
合計		79	5	25	14	8	

TEAM B		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	平尾 剣弥	◎ 13	3	2			
5	田上 航己	2		1			
6	森下 舜真	6		3		3	
7	松井 雄幸	2		1		5	
8	近藤 央	○ 14	2	3	2		
9	八崎 健之介	2		1			
10	諸石 雅也	0					
11	米澤 協平	○ 4		2		3	
12	軸屋 怜音	○ 0					
13	山本 将史	0					
14	千々岩 修大	0					
15	MUYA KABAMGU FRANCIS	○ 8		3	2	4	
コーチ	川添 裕司						
合計		51	5	16	4	15	

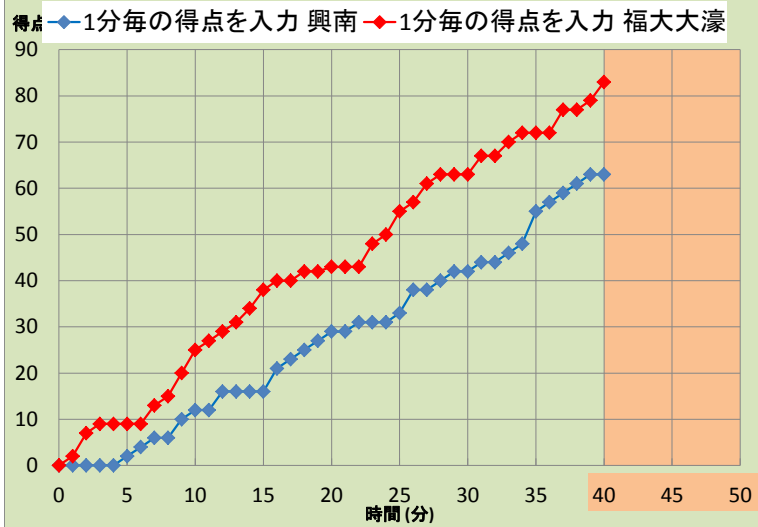
【戦評】

全九州大会準決勝、福岡県1位福岡第一対宮崎県2位延岡学園との対戦、福岡第一のスターティングメンバーは、#17、#24、#28、#31、#50、延岡学園のスターティングメンバーは、#4、#8、#11、#12、#15で試合開始。第1P、両チームマンツーマンでスタート。両チーム積極的にドライブを仕掛ける展開から始まる。福岡第一は早い展開とピックアンドロールでオフェンスするがターンオーバーもあり得点が伸びない。延岡学園は#7、#8の1対1、アウトサイドシュートでリードを奪う。福岡第一は#50のゴール下で得点する。福岡第一の#8、#17のレイアップが決まり1点差で第1P終了。第2Pリズムに乗れない延岡学園は1-1-3ゾーンにディフェンスを変える。福岡第一はメンバーチェンジをしながらゲームの主導権を握ろうとする。お互いにリズムが出ない状況が続く延岡学園のタイムアウト。しかし両チームともターンオーバーがあり得点できず、福岡第一が3点リードで前半終了。第3P、福岡第一はマンツーマン、延岡学園は2-3ゾーンで始まる。重い展開が続くゲームは膠着状態となる。両チームペイント内で思うように得点できない。残り4分福岡第一の#28の速攻、アーリーオフェンスからの#10の3ポイント、#55のバスケットカウントで突き放しにかかる。効果的に#31の3ポイントも決まり福岡第一が16点リードで第3Pを終える。第4P、追いつきたい延岡学園は#4の1対1、3ポイントでオフェンスするが点差を縮めることができない。福岡第一は延岡学園のゾーンディフェンスに対してパスとカットを効果的に使い得点を重ね、79対51で試合終了。膠着状態のゲームの雰囲気を一瞬で変える福岡第一の強さが出たゲームであった。

【戦評記者】 足立 亮一
福岡県バスケットボール協会

平成29年度 全九州高等学校体育大会 第70回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

【得点経過】



会場	福岡市民体育館	
日時	平成29年6月25日 (日) 10:30	
コート	Bコート	第2試合
カテゴリー	男子	準決勝
主審	紀伊 孝哉	
第1副審	岩尾 圭治	
第2副審	小川 隆三	

TEAM A		TEAM B
興南	63	83 福大大濠
沖縄1位		福岡2位
●		○

【BOXスコア】

TEAM A		興南高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	平良陽汰	30	2	12		4	
5	川満大我	11		5	1	2	
6	儀間雄山	10		5		2	
7	兼城賢斗	2		1		1	
8	アデハンジョウウィリアム	10		5		3	
9	安里宗弥	0					
10	中村大河	0					
11	糸数悠紀	0					
12	湧田琉也	0					
13	仲間史	0					
14	木下鈴之助	0					
15	山城康友	0					
コーチ	井上公男						
合計		63	2	28	1	12	

TEAM B		福大大濠高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	永野聖汰	22	5	3	1		
5	上塚亮河	16	1	6	1	1	
6	川島聖那	4		2			
7	浅井修伍	7	1	2			
8	中崎圭斗	8		4			
9	藤井宏治	2		1		2	
10	山本草大	2		1			
11	西田公陽	0					
12	土家大輝	6		3		1	
13	木林優	2		1			
14	横地聖真	4		1	2		
15	井上宗一郎	10		5		2	
コーチ	片峯聡太						
合計		83	7	29	4	6	

【戦評】

全九州大会男子準決勝、福岡県福岡大大濠対沖縄県興南との対戦、大濠のスターティングメンバーは、#4、#8、#12、#14、#15、興南のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#7、#8で試合開始。第1P大濠がディフェンスリバウンドを確実に得点に結びつけ主導権をとる。対する興南はアウトサイドを中心に攻撃するが、大濠のディフェンスを崩せず、ショットがなかなか決まらず得点できない。大濠は硬いディフェンスからバランスの良い攻撃で徐々に点差を広げる。ベンチから出場の#5#6のアグレッシブなディフェンスと速攻でさらに流れを引き寄せ、1P25-12と大濠のリード。第2P、両チームともに厳しいディフェンスを展開。興南は高さで勝る大濠に対して、激しいディフェンスとリバウンドに飛び込みながら個人技で食らいつく。大濠はインサイドの#8、アウトサイドの#4#6バランスの良い攻撃で興南ディフェンスを崩し、高確率のショットで加点していく。興南は#4のペネトレイトや#6のジャンプショット、#5の速攻で応戦するが、リードを広げられ前半2回目のタイムアウト。43-29大濠リードで前半終了。第3P、興南はインサイドに対して厳しくディフェンス。リズムを掴むが、アウトサイドショットがなかなか決まらず得点が伸びない。一方大濠は、そのリバウンドを確実に#4#5の速攻に結びつけながら、その後も#5の相手ディフェンスの隙を突いたドライブインなど連続ゴールで更にリードを広げ、63-42で3P終了。第4P、興南は持ち味の速い展開を仕掛け、速攻から#5のショットで先制し、その後も#4#8の個人技やスティールからの速攻で得点を重ね追い上げをはかり、大濠の高さに苦しみながらも果敢にアタックを仕掛ける。大濠は要所で強いリバウンドと、チームオフェンスで点差をキープし83-63で勝利。高さで総合力で勝った福大大濠が決勝戦へ駒を進めた。

【戦評記者】 足立 亮一
福岡県バスケットボール協会